

平成23年10月31日

ファンのみなさま
関係者各位

吉本興業株式会社

最近の週刊誌等の弊社関連記事について

このところ、週刊誌、インターネット配信等の記事において、弊社に関して誤った事実関係に基づく記事、または不適切な論評を行う記事が報道されており、ファンの皆様をはじめ関係各位にはご心配をお掛けしております。

名誉毀損・信用棄損行為に対しては訴訟を提起することで対処していく予定であるところは既にご報告の通りですが、以下に弊社から改めて事実関係を表明したいと存じます。

一部の週刊誌記事で弊社の財務体質が脆弱であるかのごとく報道されておりますが、これは財務諸表に対する見解の問題と見受けられます。借入金が存在することや営業損益等が赤字であることをもって財務上の問題としているようですが、借入先はTOBの過程でご支援をいただいた大手銀行を主体とするものであり、資金使途も明確で、順調に約定通りの返済を進めている正常な借入金であります。また営業赤字が生じていることは、旧クオンタム・エンターテイメント社が旧吉本興業株式会社を合併した際に発生したのれんの償却によるものであり、この償却を考慮しない場合には当然のことながら黒字であり、弊社の財務体質は健全であると言えます。なお、TOBによる事業戦略の大きな変革を理由として、のれんの償却を短期に行っております。

また弊社は、旧クオンタム・エンターテイメント社によるTOBに賛同することにより、その成立に伴う非上場化の途を歩んできましたが、かかるTOBへの賛同は、外部環境が大きく変化する中で、事業領域や事業内容を長期的な視野で継続して変革させていくことを目的としたものです。最近の劇場の閉鎖や映画ビジネスについても、この変革から事業戦略に基づき検討に基づき行っているものです。これらの経営判断は現在の事業環境において最善のものであると確信しております。

弊社はTOBの賛同理由として表明したとおり、国内におけるタレントとコンテンツのマルチユースとアジアにおけるエンターテイメント産業のリーディング・カンパニーを目指して邁進しており、これらを順調に遂行していると自負しております。株主様及びパートナー企業様との協力関係を一層発展させることにより、今後も弊社の事業戦略を強力に推進することができるものと考えております。

最近の記事の内容は、多くの誤解や明白な誤りを含んでおります。弊社を支えてくださるファンの皆様ならびに関係者各位には、大変ご心配をおかけいたしておりますが、何卒、ご理解いただき、引き続きのご支援のほどを宜しくお願い申し上げます。

以 上